

## 『オレンジになったー』 1歳児 8月



### エピソード

赤や黄色のゆび絵の具を使って遊びました。すぐに手が洗えるように水を張って置いておいたプラスチック容器の水は、子どもたちが手を洗っていたので、水は黄色くなっていました。

A児は絵の具を触っている友達の様子や画用紙についている手型を見ていました。そして、人差し指に赤色の絵の具をつけて、紙にトントんと描きはじめ、プラスチック容器の手洗い場で指を洗いました。保育者が「きれいになったね」と言うと、次は四本の指に赤色の絵の具を付けて、左右に腕を動かして画用紙に塗りました。塗り終わると、また、手を洗いに行きました。「いっぱい絵の具ついたね」「(プラスチック容器の水の色が)黄色いね」と保育者が言うと、A児はジーっとプラスチック容器の水を見ながら両手をこすり合わせて手を洗いました。

すると今度は、手のひらで絵の具の皿をトントン叩き、絵の具を付けて「見てー」と言いました。保育者が「うわー!真っ赤だね」と言うと、A児はそのままプラスチック容器の手洗いの水の中で手を入れこすり合わせました。繰り返し手を洗う中で水の色が変わっていく様子に気付いたA児は、プラスチック容器の水を見て「オレンジになった。オレンジになった」と保育者に伝え、保育者も「ほんとオレンジ色だね」とA児に言いました。

その後も、手に絵の具を付けては手を洗うということを繰り返し、絵の具を付けることを喜び、水の色が変化していくことを楽しんでいました。

### 保育者の思い

・普段から少しでも汚れると「きれいして!」と言うA児。二回目のゆび絵の具だったので、少し慣れて遊んで欲しいなと思いながらも、手洗い場を近くに作ったことがA児の安心感につながって、今日はどんな遊び方をするのか見守っていました。

・手洗い場として準備していた容器の水をジーっと見ている姿から何を思っているのだろうと、A児の行動や表情から、見守ったり共感したりしてかわりながら一緒に遊んでいきたいと思いました。

### 子どもの育ちや学び

・偶然にも水の色が変化していくことに気づき、絵本や歌から知っていた色が、A児の中でつながったのではないかと思います。

・寒天や絵の具、氷などの様々な素材の感触遊びを繰り返し行うことで、手の感覚機能を磨き、脳の働きを高めるとともに、指先の感覚を育むことにも繋がります。この先、自分からモノにかかわろうとする力や表現していく力の土台となっていきます。

### 家庭だったら・・・

絵の具を使った感触遊び(フィンガーペインティング)だけではなく、園ではこの夏、はるさめ、寒天、氷などを使った感触遊びをしてきました。はるさめや寒天、パン粉、小麦粉など、台所にある身近な素材で、独特の触り心地を楽しむことができます。ぜひお家の方も子ども達と一緒に触ってみて、子どもの頃に帰って「冷たいね」「サラサラしてるね」など言いながら感触を味わってみて下さい。子ども達もお家の方と一緒に、はじめて触れるものでも安心して興味をもったり、表情や仕草や言葉で伝えてくれると思います。